2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	作業療法総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号教室
担当教員	石橋　康信	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学②		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学③		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学④		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学⑤		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学⑥		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学②		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学③		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学④		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学⑤		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学⑥		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学②		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学③		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	作業療法総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号教室
担当教員	石橋　康信	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学④		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学⑤		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学⑥		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学②		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学③		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学④		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学⑤		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学⑥		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学②		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学③		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学④		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学⑤		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学⑥		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	作業療法総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号教室
担当教員	石橋　康信	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学		
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学②		
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学③		
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学④		
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学⑤		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学⑥		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学②		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学③		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学④		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学⑤		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学⑥		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験②		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験③		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	作業療法総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号教室
担当教員	石橋　康信	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学		
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学②		
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学③		
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学④		
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学⑤		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学⑥		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学②		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学③		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学④		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学⑤		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学⑥		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論②		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論③		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	作業療法総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号教室
担当教員	石橋　康信	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第61回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論④		
第62回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論⑤		
第63回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論⑥		
第64回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学		
第65回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学②		

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第66回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の知識と臨床医学の知識を関連付けることができる	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論 法律、その他		
第67回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の知識と臨床医学の知識を関連付けることができる	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学 防衛機制、心理検査、特殊心理療法		
第68回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の知識と臨床医学の知識を関連付けることができる	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学 性格、障がいの受容、記憶		
第69回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の知識と臨床医学の知識を関連付けることができる	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学 転移、学習		
第70回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の知識と臨床医学の知識を関連付けることができる	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学 心理発達、ライフサイクル		
第71回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の知識と臨床医学の知識を関連付けることができる	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学 総論		
第72回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の知識と臨床医学の知識を関連付けることができる	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学 統合失調症、気分障害		
第73回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の知識と臨床医学の知識を関連付けることができる	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学 てんかん、神経症性障害		
第74回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の知識と臨床医学の知識を関連付けることができる	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学 認知症、知的障害、行動症候群		
第75回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の知識と臨床医学の知識を関連付けることができる	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学 中毒、パーソナリテイ障害		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	作業療法総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号教室
担当教員	石橋　康信	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第76回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	作業療法概要		
第77回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	正常動作の分析		
第78回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動系・感覚系の評価		
第79回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	発達評価		
第80回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	高次脳機能障害		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第81回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	日常生活活動の評価		
第82回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	作業能力の評価		
第83回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	職業関連活動の評価		
第84回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	作業療法治療学		
第85回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	作業療法治療学		
第86回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	基本介入手段		
第87回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	義肢装具学		
第88回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	義肢装具学		
第89回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	自助具・福祉用具		
第90回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	地域作業療法学		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	作業療法総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号教室
担当教員	石橋　康信	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第91回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	骨・関節系障害領域 関節リウマチについて理解できる。		
第92回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	骨・関節系障害領域 変形性関節症・頚髄症について理解できる。		
第93回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	骨・関節系障害領域 骨折について理解できる。		
第94回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	骨・関節系障害領域 外傷・損傷・上肢関節障害について理解できる。		
第95回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	骨・関節系障害領域 上腕切断について理解できる。		

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第96回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 脳血管障害について理解できる。		
第97回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 脳血管障害について理解できる。		
第98回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 脳血管障害について理解できる。		
第99回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 高次脳機能障害について理解できる。		
第100回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 パーキンソン病について理解できる。		
第101回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 小脳障害、延髄障害について理解できる。		
第102回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 多発性硬化症について理解できる。		
第103回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 ALSについて理解できる。		
第104回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 脊髄損傷について理解できる。		
第105回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 頻出分野の確認（30分） 事後学習 模試の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	神経筋系障害領域 ギランバレー症候群について理解できる。		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	作業療法総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号教室
担 当 教 員	石橋　康信	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第106回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	神経筋系障害領域 筋ジストロフィーについて理解できる。		
第107回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	神経筋系障害領域 末梢神経障害の分類について理解できる。		
第108回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	神経筋系障害領域 末梢神経障害の分類について理解できる。		
第109回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内部領域 循環障害について理解できる。		
第110回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内部領域 呼吸系障害について理解できる。		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第111回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	内部領域 代謝系障害について理解できる。		
第112回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	内部領域 老年期障害について理解できる。		
第113回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	内部領域 その他の内科疾患（癌、膠原病）について理解できる。		
第114回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	精神障害に対する作業療法介入 精神障害総論について理解できる。		
第115回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	精神障害に対する作業療法介入 精神科集団作業療法について理解できる。		
第116回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 統合失調症について理解できる。		
第117回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 統合失調症について理解できる。		
第118回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 気分障害について理解できる。		
第119回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 気分障害について理解できる。		
第120回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 頻出分野の確認（30分） 事後学習 模試の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 神経性障害・ストレス関連障害および身体表現性障害について理解できる。		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	作業療法総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号教室
担 当 教 員	石橋　康信	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第121回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候について理解できる。		
第122回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 パーソナリティ障害および行動の障害について理解できる。		
第123回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 てんかんについて理解できる。		
第124回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 症状を含む器質性精神障害について理解できる。		
第125回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 アルコール依存症・薬物依存症について理解できる。		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第126回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	運動発達障害領域 脳性麻痺について理解できる。		
第127回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	運動発達障害領域 ダウン症候群について理解できる。		
第128回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	運動発達障害領域 重症心身障害児について理解できる。		
第129回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	運動発達障害領域 二分脊椎について理解できる。		
第130回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	精神心理発達障害領域 知的障害について理解できる。		
第131回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	精神心理発達障害領域 自閉症スペクトラム障害について理解できる。		
第132回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	精神心理発達障害領域 注意欠如・多動性障害について理解できる。		
第133回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	精神心理発達障害領域 障害児療育・感覚統合的アプローチを理解できる。		
第134回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	まとめ 今までの復習を行い振り返りをする。		
第135回	実習形式	授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 頻出分野の確認（30分） 事後学習 模試の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	まとめ 今までの復習を行い振り返りをする。		